

【月案】7月・1歳児

今月の保育のポイント

- 0歳児の時に比べ、活発に動き回る1歳児。まだ体は小さいので汗をかき、暑さと日差しによってすぐ体温が上昇しやすい。体温調節の未熟な1歳児にとっては適応しにくいので、体調変化のサインを観察しておく。
- 帽子や簡易屋根で出来るだけ日陰をつくり、日陰がある場所で遊ぶ。OS-1などで水分補給をこまめにし、熱中症と紫外線から身を守るように準備を整えておく。
- 夏季熱、熱中症、ヘルパンギーナ、プール熱、手足口病、とびひなど、夏に流行りやすい伝染病の理解をし、子どもに該当する異変がないかをしっかり観察する。また、保護者とよく連携し、子どもの様子を共有しておく。
- 好きな遊びをもくもく行う姿には、一人遊びを見守るようにする。子どもがきょろきょろしたり、保育者を求めてくるときに声をかけるなどの適切な応答を心がける。

月のねらい

- 保育者や友達と関わりながら、好きな遊びを楽しむ。
- ゆったりと快適に過ごし、健康的に生活する。
- 水遊びなどの夏ならではの遊びを楽しみ、満足感を味わう。
- 七夕の行事に参加し、異年齢の友達と関わりをもつ。
- 夏の季節を心地よく過ごせるようにする。
- 自分の気持ちを受け止めてもらう喜びを感じながら安定して過ごす。
- 体操や運動遊び、戸外遊び等で体を動かすことを楽しむ。
- 保育者と一緒に簡単な着脱をやってみようとする。

週のねらい

その1

- 1週目：七夕の行事に参加し、行事の楽しい雰囲気を味わう（教育）
- 2週目：水遊びを通して、水に触れる心地よさを感じながら楽しく遊ぶ（教育）
- 3週目：保育者や友達と関わりながら、好きな遊びを楽しむ（教育）
- 4週目：夏ならではの自然に触れ、興味を持つ（教育）

その2

- 1週目：暑い夏を快適に過ごせるようにする（養護）
- 2週目：保育者に補助されながら自分で着脱をやろうと意欲を持つ（養護）
- 3週目：保育者や友達と関わりながら、水遊びを楽しむ（教育）
- 4週目：夏季の気候や衛生に配慮して、ゆったりと心地よく過ごす（養護）

その3

- 1週目：行事や季節の歌に親しみ、手足を動かしたり、声を出したりする（教育）
- 2週目：様々な感触を味わいながら遊ぶことを楽しむ（教育）
- 3週目：体調の変化に留意し、健康に過ごせるようにする（養護）
- 4週目：全身をのびのびと動かして遊ぶことを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：好きな遊びを見つけ、一人遊びを楽しむ（教育）
- 2週目：小まめな着替えや水分補給を行い、心地よく過ごせるようにする（養護）
- 3週目：自分の欲求や思いを単語や身振りで伝え、伝わる喜びを感じる（教育）
- 4週目：手先を使って遊ぶことを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 食事の際には自らスプーンを持ち、食べ物をすくったり食べてみようとしたりする姿が見られる子どもが増えてきている。反対の手で支えながら食べ物をスプーンにのせるなど、自分で食べようとする意欲的な姿が見られる。
- 保育者にトイレに誘われるとスムーズにこたえ、おまるで排泄しようとする子どもが増えてきた。一方で、遊びに夢中だとなかなかトイレに向かえない時もある。
- 自分のものに興味を持ち、着替えの際には自分の棚を指差したり意欲的に着替えようとしたりする子どももいる。
- 雨が降ると窓の外を眺め、外の様子を見て楽しんでいる子どもがいた。雨上がりに散歩に出ると水溜りに興味を持ち、水に触れたり眺めて楽しんでいる姿が見られた。
- 慣れた保育者に見守られているとスムーズに入眠できるようになり、心地よく眠っている。
- 梅雨の疲れが出て食事中に眠くなってしまったり、睡眠時間が足りず起床を嫌がることもある。
- シャワーを浴びると声を出して喜ぶ様子、緊張する様子が見られていた。
- 自分から「バイバイ」と言ったり、保育者や友達とタッチをして降園する。
- 蒸し暑い日々が続く、活動中に汗をかいたり睡眠中の寝汗が多くなった。
- 自分なりの言葉や仕草等で気持ちを伝えようとする。

教育（遊び）

- 公園では、保育者に花や生き物を紹介されると触ってみようとする姿も見られた。
- 好きな遊びでは、ブロックやボールなどそれぞれの好きな遊びを見つけ、繰り返し楽しんでいた。時には友達の遊びに興味を持ち、関わって遊ぼうとすることもある。
- 保育者に絵本を読んでもらったり、手遊びをしてもらったりすると喜び、楽しそうにしている。
- 「わんわん」「ばあ」「まんま」など簡単な言葉を発することを楽しみ、意欲的に話そうとする姿が見られる子どももいる。
- 部屋の中や戸外で探索活動を行い、探したり、気になるものを手にとったりしている。今まで興味のなかったものに興味が湧き始め、様々なものに触れることを喜んでいる様子がある。
- 積み木を積み重ねたり、箱に玩具を入れたりすることに集中し、一人で遊ぶ姿が見られる。
- 踊りでは音楽に合わせて体を動かすことを楽しんでいた。
- 友達の様子を真似たり、「おんなじ」と同じことを喜ぶ。
- 虫歯予防デー後はぬいぐるみに歯磨きをしたり自分の歯を磨く真似をする姿が見られた。
- 滑り台やコンビカー等の遊び方が分かってきており、階段を上ってから滑り降りたり、足を使って前に進む様子が見られている。

活動内容（5領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**保育者に介助されながら、自分で衣類の着脱をしようとする。（健康）
環：衣類の着脱にも興味を持ち、自分で袖を通したりしようとする姿も見られるようになってくる。子どもがやろうとする行動を見落とさず、「上手に着れたね」など認める言葉がけを行う。
- **活：**食事の際は様々な料理形態を経験し、少しずつ慣れていく。（健康）
環：月齢によって食事のペースや調理形態が異なるため、個々に合わせて食事を進められるようにしていく。
- **活：**生活リズムを整え、安心して眠る。（健康）
環：眠るタイミングは子ども一人ひとりにばらつきがある時期。それぞれの生活リズムを把握し、心地よく過ごせるように配慮する。
- **活：**保育者と一緒に手を洗い、綺麗になった気持ち良さを味わう。（健康）
環：手を洗う際には保育者が援助を行い、「綺麗になったね」「気持ちいいね」など声をかけることで清潔になった気持ちよさを感じられるようにする。
- **活：**食事の際には「いただきます」や「ごちそうさま」と保育者と一緒に言葉やしぐさで表現する。（言葉・表現）
環：食事の挨拶の際には子どもの様子をよく見て、一緒に挨拶を行えるようにする。また、挨拶ができた際には褒め、楽しい雰囲気の中で食事ができるように進めていく。
- **活：**保育者の援助を受けながらよく噛んで食べようとする。（健康）
環：子どもの食べる意欲に共感し、一口に入れる大きさも調整しながら「もぐもぐ」「ごっくん」など言葉をかけ、よく噛んで飲み込むように見守る。
- **活：**保育者の促しでトイレに行き、排尿しようとする。（健康）
環：子どもの排尿間隔に合わせて大体の時間でトイレに誘う。排尿できたときはその快適さを共感する言葉かけを行う。
- **活：**保育者に手伝われながらも、腕や足を動かして服に身体を入れようとする。（健康）
環：「トンネルくぐるかな」「足がでてきたね」など、子どもの動作に合わせて声をかけ、出来たことを喜ぶ。
- **活：**保育者と着替えをしたり、シャワーを浴びたりしながら夏の時季を健康に過ごす。（健康）
環：一人ひとりの様子を見て「汗かいてるから着替えよう」と誘う。嫌がる時は「どっちのお洋服がいい?」「○○描いてある」と興味を引き出す。又、シャワーを浴び肌を清潔に保ったり、心地よく過ごせるようにする。
- **活：**保育者に言われていることが分かり、指差しや行動で反応する。（人間関係）
環：はっきりとした言葉で関わったり、言葉と行動を結び付けながら関わる。考えて行動しようとする姿を見守り、「分かったの凄いね」と笑顔で認める。又、様子に応じて援助して生活に関する理解に繋げていく。
- **活：**自分なりの言葉や行動で気持ちを伝える。（人間関係・言葉・表現）
環：はっきりとした言葉にならなくても伝えようとする姿を、発音、表情や動き、周囲の環境等から伝えたいことを汲み取り、「○○かな?」「○○だね」と言葉かけしながら伝わる喜びや語彙の増加に繋げる。
- **活：**自分のロッカーが分かり、指差しをしたり衣服を片付けたり、出そうとする。（環境）
環：自分の場所が分かって行動する姿を大いに認める。様子に応じて、一緒に片付けたり出したる経験を積んでいく。
- **活：**自分で水や石鹸を出して手洗いをしようとする。（健康）
環：自分でしようとする姿や興味がある姿を受け止め、水の量を一緒に確認しながら出したり、「石鹸は1回ね」「アワアワになったね」と言葉かけしながら丁寧に手洗いの仕方を伝えていく。

- **活：**保育者や友達の顔と名前が分かり指差しをしたり、名前を呼んだりする。（人間関係）
環：名前を使う歌をうたったり、「○○ちゃんどこかな？」「これはだあれ？」等と問いかけたり、「○○先生だよ」「△△くんだよ」と知らせて友達の存在を意識できるよう関わっていく。
- **活：**七夕に向けて製作をしたり、七夕会に参加しながら行事の雰囲気味わう。（環境）
環：歌をうたったり、絵本や笹の葉を見たりしながら、日常的に七夕について伝えていく。
- **活：**夏の疲れに考慮し、無理のない食事や心地よい睡眠をとれるようにする。（健康）
環：担任間で子どもの様子を把握した上で生活の流れを見直していく。食事の量を調節したり、室温や寝具に留意しながら無理なく快適に過ごせるようにする。

教育（遊び）

- **活：**保育者と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。（言葉）
環：「わんわんだね」「いないいない、ばあ」など子どもが真似しやすい言葉をかけ、一緒に言葉を発しながら楽しめるようにしていく。
- **活：**製作や遊びを通して様々な素材に触れ、感触の違いに気づく。（表現）
環：使い慣れた玩具だけでなく、布や紙など様々な素材に触れて遊べるように活動を準備する。その際には、安全に使用できるかどうかよく検討し、怪我や事故に繋がらないように気を付ける。
- **活：**握る、つまむなどの指先を使った遊びを楽しむ。（健康・表現）
環：月齢に応じて指先を使って遊べる活動を取り入れ、楽しく指先を使う練習できるようにする。
- **活：**遊びを通して友達に関心を持ち、関わる楽しさを味わう。（人間関係）
環：遊びの中で、保育者だけでなく友達とも関わりが持てるように援助していく。また、玩具の貸し借りなどの際には仲立ちをし、子どもが思う存分遊べるように援助する。
- **活：**水遊びや泥遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。（環境）
環：水や泥を嫌がる子どもには無理強いをせず、それぞれが楽しく遊べるようにしていく。カップやシャワーなど水遊び用の玩具も準備し、遊びが広がるように保育者も一緒に楽しむ。
- **活：**砂や泥、自然物や絵の具、スポンジなど身近な物に触れ、感触を楽しみながら人と関わって遊ぼうとする。（健康・人間関係・表現）
環：戸外や室内でも様々な物に触れられるように環境を用意し、すぐに遊べるように準備しておく。保育者も一緒に楽しく遊び、「きもちいいね」「ぬためた」「でろんでろん」「とろとろ」等、感触に合わせた表現を豊かに言葉かけをする。
- **活：**夏野菜に関心をもち、成長途中の果実に触れてみたり、水をあげて楽しむ。（健康・環境）
環：毎日水やりなどで接することで「ちょっと赤くなったかな？」「虫がいるね」など、気づきに共感したり、寄り添う。
- **活：**様々な絵本や図鑑を見て楽しみ、思いや発見を自分なりに伝えようとする。（人間関係・言葉）
環：発見を発する声、指さしに共感しながら「これはバスだね」等、絵本や図鑑に沿った言葉をかける。
- **活：**戸外に出ることを喜び、夏の健康に留意してもらいながら活発に遊ぶ。（健康）
環：帽子を着用し、日陰になる場所を作ったり、小まめな水分補給を行いながら過ごす。戸外で遊ぶ時間に留意しながら、遊ぶ楽しさに共感していく。
- **活：**夏の植物や生き物に興味を持ち、見たり触れたりすることを楽しむ。（環境）
環：「ひまわり○○ちゃんより大きいね」「チョウチョ飛んでるね」等と観察したり触れる中で自然に興味を持てるよう関わっていく。蜂やハチの巣に留意しながら園庭の定期的な点検を行う。
- **活：**手遊びや音楽に合わせて体を動かす楽しさを味わう。（表現）
環：のびのびと体を動かす様子を温かく見守る。動きが活発な子とそうでない子がいるため、衝突や転倒に繋がらないよう周りの環境に十分に配慮していく。

- **活：**水遊びを通して水の気持ち良さを味わう。（環境）
環：「お水冷たくて気持ちいいね」「お外が暑いから気持ち良く感じるね」等と言葉かけしながら関わっていく。
- **活：**運動用具に積極的に関わり、遊ぶ楽しさを感じる。（環境）
環：遊び慣れた用具は遊び方を理解してきているため、安全面に留意しながら側で温かく見守り楽しさに共感していく。新しい遊具や用具は「ここから登るよ」「こっちから出ようね」等と繰り返し伝えていく。
- **活：**夏の歌や行事の製作を通して夏の季節を感じる。（環境）
環：朝夕のお集まりや活動の時間に歌をうたったり、音楽をかけたりする。又、季節と発達に合った製作を行っていく。
- **活：**保育者や友達の行動を模倣したり、同じ遊びをすることを喜ぶ。（人間関係）
環：模倣しやすい動きで関わったり、友達の声や動きを真似する楽しさに共感しながら関わる。友達の遊びに興味があり、トラブルになってしまう時は、「同じの作ろう」「順番で一緒に遊ぼう」と満足感に繋げていく。
- **活：**興味のある遊びや好きな遊びをじっくりと楽しむ。（環境）
環：一人で遊んでいる時は必要以上に関わることはせず、集中力や想像力、楽しさに繋げていく。保育者の反応を求める時はすぐに応え、遊びの楽しさに繋げる。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 体温調節がうまくできない時期であるため、日陰で遊ぶ、水分をこまめにとる、長い時間ずっと戸外で過ごさないようにするなど対策をとりながら過ごす。
- 伝染病が流行りやすいため、子ども一人ひとりの健康観察はよく行うようにする。何か少しでも違和感やいつもと違うことがあれば保護者に伝達し、園でもよく様子を見ていく。
- 担任間で水遊びにおいての安全確保について確認したり、流れについて確認し安全な活動を行う。
- 肌疾患が見られやすい時期、日々丁寧に視診しながら早期対応に努める。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- きんぎょうちわ製作／丸めてとうもろこし／プチプチスタンプのかき氷

歌

- たなばたさま／うみ／なみとかいから

絵本

- ぎゅ〜っ！／くりんくりんごーごー／ぐるぐるせんたく

手遊び

- サイダー／かきごおり／いわしのひらき

室内室外遊び

- ボール遊び／色水遊び／テントウムシと棒で

行事

- 海の日（第3月曜）
- 七夕（7/7）
- ひまわりの日（7/14）
- 幽霊の日（7/26）
- 土用の丑の日
- 水遊び
- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定

食育

- 夏バテもあり、食事があまり進まない子どもがいれば、食事の量を調節し、少しでも食べられるように声をかけていく。
- 好き嫌いも出てくるため、嫌いなものだけ口から出すなどの様子があれば、家庭と連携しながら個別に対応する。食べられた際にはたくさん褒め、意欲が湧くように援助していく。
- 夏の野菜に興味を持ち、食べてみようとする。
- こぼしながらもスプーンを使って食べることを楽しむ。

異年齢保育

- 友だちの遊びや使っている玩具への興味に寄り添い、簡単なしぐさや言葉でのやり取りを促す。
- 友だちと一緒に簡単な手遊びをする中で、親しみが育つよう、楽しさを共有する声かけを行う。
- トイレに行く友だちへの関心を見逃さず、無理のない範囲でトイレへの興味へとつなげていく。
- 水遊びや感触遊びを嫌がるときは、友だちの姿を通じて徐々に興味を持てるように関わる。
- 食事や着脱の場面で友だちの姿をまねる姿を温かく見守り、必要に応じてさりげなく援助する。

職員間の連携

- クラス内で感染症が発生した際は、日々のミーティングや日報を活用し、園全体で情報を共有する。
- 疲れやすい時期のため、健康状態を観察してこまめに共有し、食事や睡眠の時間を柔軟に調整する。
- 記名のない持ち物があつた場合は共有し、保護者に確実に伝えられるようにする。
- 水遊び時の保育者の動きや配置を確認し、声をかけ合いながら安全に行えるようにする。
- 排泄や食事、着脱の様子を伝え合い、一人ひとりに合った援助の方法や工夫について話し合う。

地域と家庭との連携

- 熱中症、手足口病、とびひなどの夏に流行しやすい病気について、掲示板などで保護者にわかりやすく掲示する。また、園や家庭で見られた体調の変化などを伝え合えるよう、保護者とコミュニケーションをしっかりとっていく。
- 汗をよくかき、着替えの回数も増える時期。着替えは多めに準備してもらい、こまめに補充してもらえるようお願いする。
- 水遊びも行うため、タオルや着替え、水遊び用のパンツ（おむつ）など、準備物をお知らせする。
- 遊びや食事の様子を連絡帳や送迎時に丁寧に伝えて安心感に繋げる。
- トイレで排泄できた時には保護者に伝え、時間がある時には家庭でもトイレに誘ってもらえるようにする。
- 連携する医療機関と夏の感染症について情報共有する。

長時間保育の配慮

- 熱中症予防のため、エアコンや扇風機を活用して快適な室内環境を保ち、こまめな水分補給を促す。
- 水遊びや暑さにより体調を崩しやすくなる時期のため、体調の変化に十分留意する。
- 夕方にかけて疲れが出やすいため、ゆったりと遊んだり、休息を取れる環境を整える。
- 時には戸外の心地よさを感じられるよう、涼しい時間帯にテラスや園庭で遊ぶ時間を設ける。
- 落ち着いて過ごせる環境を整え、絵本やわらべうたあそびを通じてリラックスできるようにする。

自己評価

- 保育者に介助されながら、衣類の着脱を意欲的に行っていたか。
- 食事の際は様々な料理形態を経験し、食べ進めることができたか。
- 食事の際には保育者と一緒に、言葉やしぐさで「いただきます」や「ごちそうさま」を表現しようとしていたか。
- 保育者と簡単な言葉のやり取りを楽しめたか。
- 様々な素材に触れ、感触の違いに気づき、触れることを楽しんでいたか。
- 指先を使った遊びを楽しむことができたか。
- 遊びを通して友達と関わって遊ぶことができたか。
- 水遊びや泥遊びなど、夏ならではの遊びを思う存分楽しめたか。
- 夏の時季を健康で快適に過ごせるよう十分に配慮したか。
- 簡単な着脱に対する意欲を高められたか。
- トイレやトイレでの排泄に興味を持てるよう関わったか。
- 自分なりの言葉や仕草で伝えようとする姿を受け止めたか。
- 暑さが和らぐ日や時間帯は戸外に出て過ごし、戸外で遊ぶ楽しさを感じられていたか。
- 一人ひとりの様子に合わせた無理のない水遊びが出来たか。
- 七夕会に参加し、行事の雰囲気を楽しんだり、異年齢児との交流を楽しんでいたか。
- 保護者へ夏の感染症や肌疾患について丁寧に伝えたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

